

Just Composed 2019 in Yokohama～現代作曲家シリーズ～

## サクソフォンの多様性

【横浜芸術アクション事業】 ソプラノとアルトサクソフォンと共に時空を駆け巡る！



上野耕平 (サクソフォン)



山中惇史 (ピアノ)



酒井健治 (作曲家)

■ 横浜から新曲が毎年誕生。“いま”の音楽を次世代へつなぐ

■ サクソフォンを縦横無尽に操る上野耕平が登場。山中惇史とのコンビで煌びやかに楽曲を描き出す

■ 俊英・酒井健治の新作と上野耕平との出会いの化学変化を楽しむ

1999年からスタートし、今回で20回目を迎える「Just Composed in Yokohama 現代作曲家シリーズ」。気鋭の作曲家への委嘱新作を毎回発表(世界初演)するとともに、これまで披露されてきた過去の委嘱作品の再演も行うなど、“いま”の音楽を生み出し、次世代へと紡ぐコンサート。今年も横浜から新曲が誕生します。

当シリーズの作曲家の選定と公演の企画を行う選定委員は、音楽学者の白石美雪と当ホール館長池辺晋一郎です。今回のみの選定委員として、今注目の若手サクソフォン奏者・上野耕平が参画し、演奏も担います。先ごろ11月25日に開催された「わくわくプラス！ in みなとみらい」では、新進気鋭の吹奏楽団＝ぱんだウインドオーケストラのコンサートマスターを務め、一緒にステージに乗った公募市民の皆さんを引っ張り、聴く者をとらえて離さないその演奏とリードは記憶に新しいところ。ソロやサクソカルテットでの演奏も多く、メディアでも引っ張りだこ。サクソフォンを自在に奏で、その艶やかな音色に驚かされるとともに、彼の登場は「何かある！」と期待が膨らむ存在。その上野耕平が、信頼を寄せるピアニスト山中惇史とともに、楽曲を鮮やかに・煌びやかに描き出します。

そして、俊英・酒井健治による、期待の新曲が披露されます。酒井健治は京都市立芸術大学で学んだ後、渡仏。フランス国立パリ高等音楽院作曲科、ジュネーヴ音楽院作曲科を最優秀の成績で卒業後、武満徹作曲賞第一位、エリザベート王妃国際音楽コンクール大賞、2015年にはローマ賞に選ばれるという快挙を次々に成し遂げている逸材。上野耕平との出会いの化学変化は聴き逃しません。

過去の本シリーズの委嘱作品、サクソフォンのために書かれた名曲などとあわせ、現代作曲家に焦点をあてた同時代の音楽を聴く貴重な機会です。「Just Composed 2019」を楽しむための事前レクチャーも開催します。

## 【事業概要】

公演名：Just Composed 2019 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ～

サクソフォンの多様性 ソプラノとアルトサクソフォンと共に時空を駆け巡る

日時：2019年3月23日(土) 15:00開演(14:30開場)

会場：横浜みなとみらいホール 小ホール

出演：上野耕平(サクソフォン)、山中惇史(ピアノ)、酒井健治(作曲家)

曲目：R.エテザディ：ストリートリーガル、R.シューマン：3つのロマンス

佐藤允彦：「遊行」より(Just Composed 2000委嘱作品 再演)

逢坂裕：ソプラノサクソフォンとピアノのためのソナタ エクスタシス

酒井健治：新作(Just Composed 2019委嘱作品)

E.デニソフ：アルトサクソフォンとピアノのためのソナタ

吉松隆：ファジィバード・ソナタ

料金：全席指定 3,000円 学生 1,500円 65歳以上・障がい者手帳をお持ちの方 2,800円

主催：横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

共催：横浜アーツフェスティバル実行委員会

問合せ：横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000

裏面あり

**関連レクチャー**  
**「白石美雪による Just Composed 2019 の楽しみ方」**

日時:2019 年3月8日(金)19:00～(18:30 開場)

会場:横浜みなとみらいホール 小ホール

出演:上野耕平、白石美雪(武蔵野美術大学教授、音楽学者)

●事前申し込み制:横浜みなとみらいホールチケットセンター tel045-682-2000

**入場無料**  
(レクチャーのみの  
参加も歓迎!)  
**要申込み**

◇ご取材・ご掲載・ご来場いただける場合には、下記へご連絡をお願いいたします。

このプレスリリースに関するお問合せ:横浜みなとみらいホール Tel: 045-682-2020 / Fax: 045-682-2023  
総支配人補佐:小椋錬太郎 広報担当:鈴木慶子 事業担当:松江史乃、新野見佳奈